

2018年度 第1回研究交流会 アンケート調査結果報告書

- 1) 調査目的 本調査は、第1回研究交流会において、参加者の属性、交流会の満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2) 調査対象 第1回研究交流会参加者全員
- 3) 調査方法 第1回研究交流会終了後、アンケート調査票に記入
- 4) 実施日 平成30年10月22日(木)

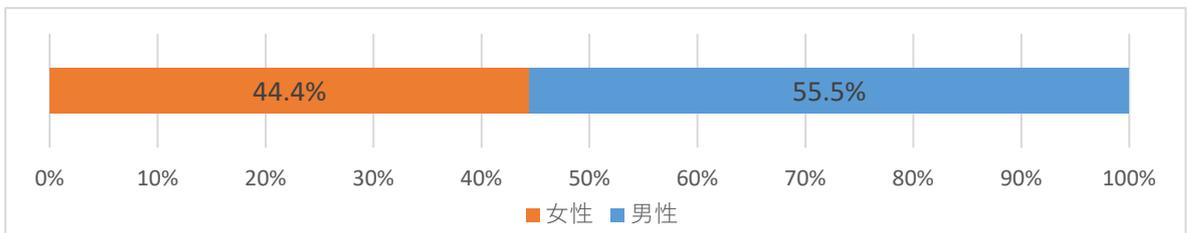
■ アンケート集計結果

回答数 対象者22名、回答者18名
回答率 81.8%

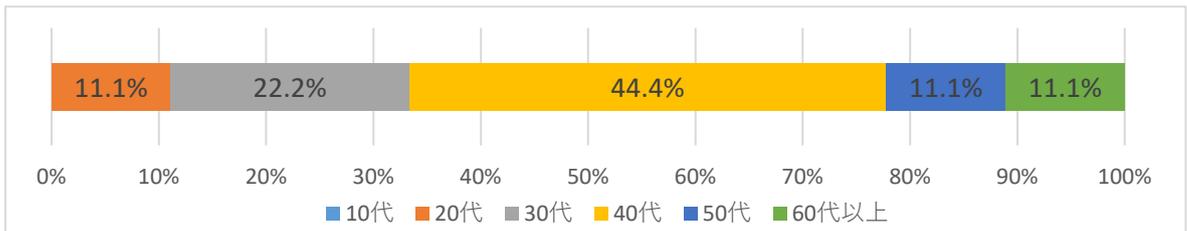
■ アンケート調査結果

○ 回答者の属性

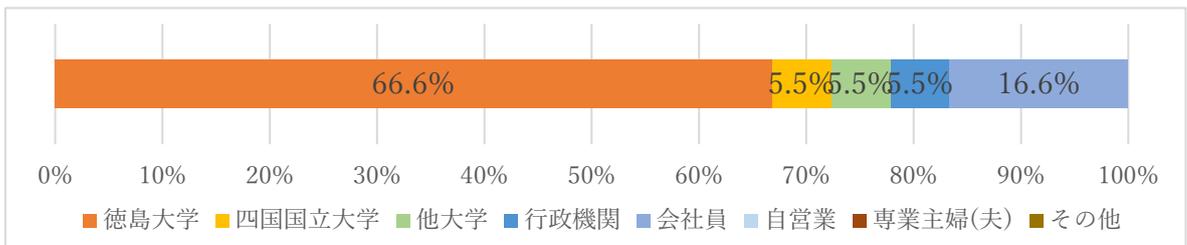
◆ 性別



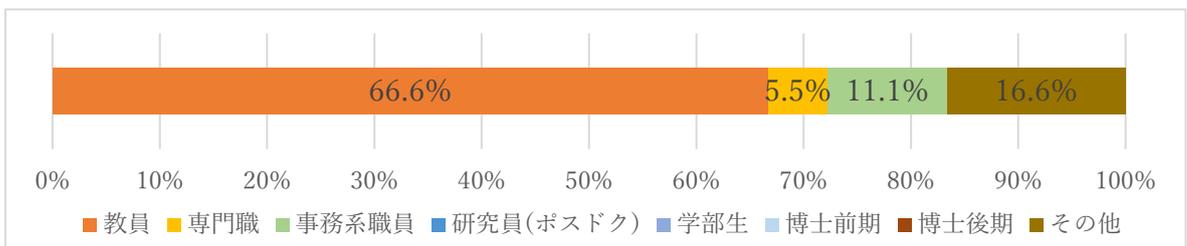
◆ 年齢



◆ 所属

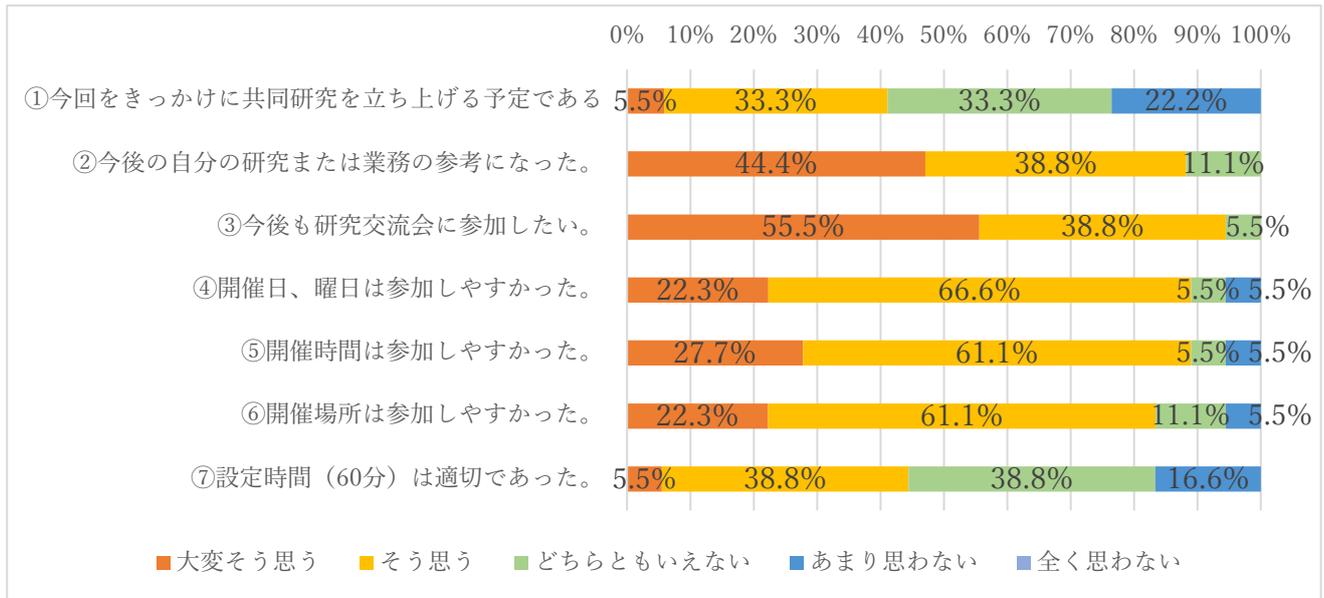


◆ 職種



回答者の性別は、女性が44.4%で男性が55.5%とやや男性が多い割合であった。
年齢は40代が最も多く、44.4%で、20代から60代以上まで幅広い年代層の参加があった。
所属は、徳島大学が66.6%で、他機関から33.1%の参加があった。
職種は、教員が66.6%と最も多く、次いでその他の参加が16.6%であった。

問 以下の質問事項について、該当するものにチェックをいれてください。

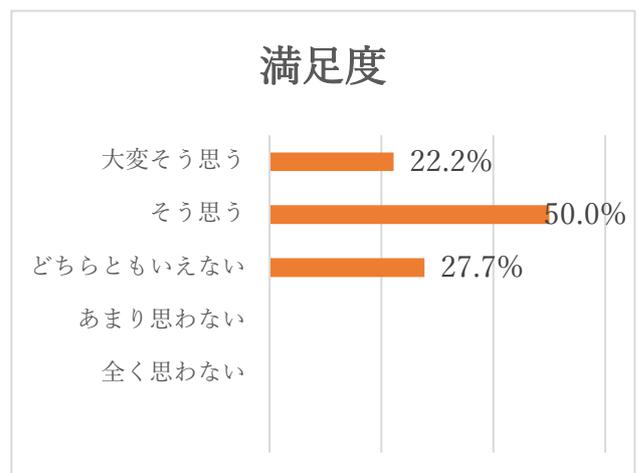
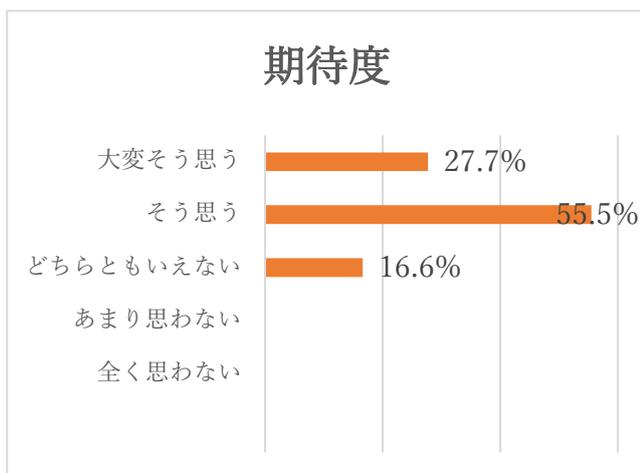


『今回をきっかけに共同研究を立ち上げる予定である』に対して、38.8%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、『今後の自分の研究または業務の参考になった』に対して、83.2%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、交流会への評価は高かった。また、『今後も研究交流会に参加したい』に対して、94.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズの高いことがわかった。

開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』88.9%、『開催時間』88.8%、『開催場所』83.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、『設定時間(60分)は適切であった』に対して、44.3%と回答しており、参加しやすい開催形式ではあったが、設定時間では、あまり適切ではなかったことが考えられる。

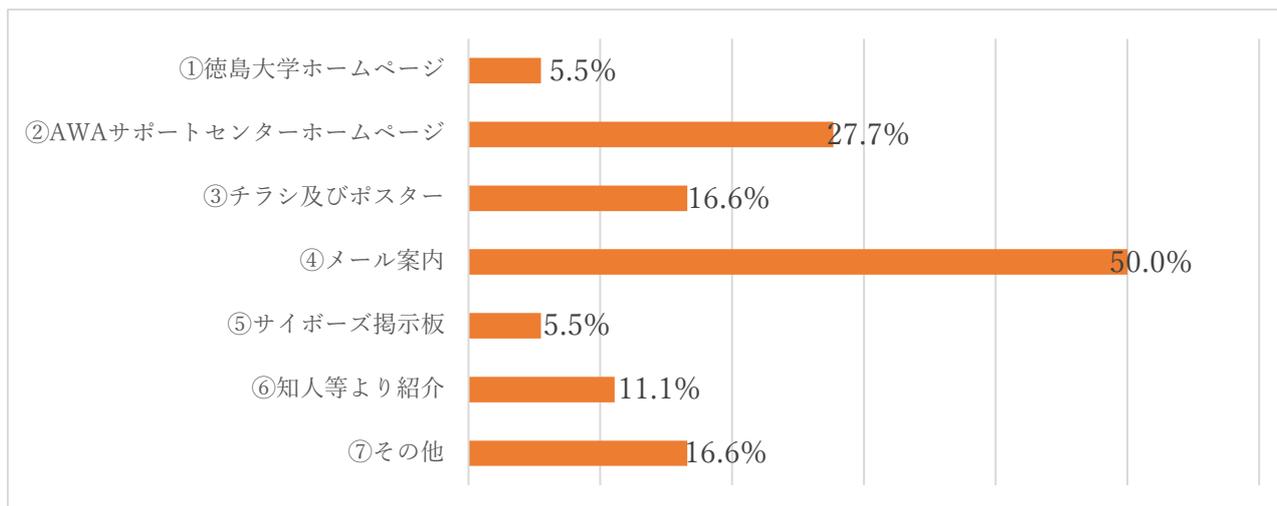
⑧ 本交流会に期待していた。

⑨ 本交流会は期待どおりだった。



期待度は、『本交流会に期待していた』に対して、72.2%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、満足度は、『本交流会は期待どおりだった』に対して、83.2%『大変そう思う』『そう思う』と回答している。また、期待度の平均値は 4.1 点、満足度は 3.9 点であり、期待度、満足度ともに高かったが、満足度が期待度を超えていなかった。

問 第1回研究交流会の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『メール案内』が 50.0%と最も高く、次いで『AWAサポートセンターホームページ』が 27.7%、『チラシ及びポスター』が 16.6%と高かった。最も効果が低かった周知方法は、『徳島大学ホームページ』と『サイボーズ掲示板』で、5.5%であった。